

【集会基調】

100歳高齢者が7万1274人。人生100年時代と言われ喜ぶべきはずの長寿化ですが、老後の生活を保障できない年金制度、介護保険制度は制度改正ごとに後退につぐ後退で「負担増とサービス縮小」、さらに利用抑制と「自己責任社会」になりつつあります。

先細りしていく社会保障制を尊厳のある温かみのある制度へ、高齢者が誇りを持って生きられる社会を求めています。

5年に一度の年金財政検証結果が公表され、それを基に今国会で関連法案が提出される予定です。年金制度の基盤は経済・雇用・賃金の動向に連動し基盤改善政策が求められます。

高齢者世帯の老後収入源の約6割は、年金で支えられています。さらに孫やひ孫など将来世代への維持も重要です。意味のある年金制度となるよう要求の実現を目指していきます。

消費増税という税制の大改革を実施した直後の税制改正大綱が決まりました。未婚のひとり親の負担軽減には評価できますが、ベンチャー企業など法人税の優遇は政権与党のおごりとみえます。所得税の高所得者優遇など税制の抜本改革が望まれます。

安倍政権は高い支持率を謳歌してきましたが、多くの調査でその理由は他に適当な指導者がいないということでした。安倍政治は、まさに他に選択肢はないという国民の諦めにささえられた政権であったと言えます。

森友・加計問題から桜を見る会、さらにカジノ疑惑問題など無視を決め込む政権の態度、国会論戦では水掛け論の繰り返しでした。

見慣れた光景と諦めは、政治の衰退へと繋がります。政治の活性化、持続可能な社会保障制度を確立して行く為にも退職者連合は来るべき解散総選挙では連合とともに政権交代を目指し全力で闘います。

私たち退職者連合は今通常国会に向けて、年金、医療・介護など、政策・制度要求の実現を図っていきます。院内集会終了後には厚生労働大臣への要請を、そして、立憲、国民、社民党への協力要請を行い、傍観者でなく「行動する退職者連合」として活動していきます。